

平成30年度 第5回

川合市長と語り合うタウンミーティング

～未来を担う川越市スポーツ少年団員と

川越市長が語り合う～



日時：平成31年2月23日（土）

午後3時～4時

場所：川越市中央公民館 3階軽体育室

参加者

川越市スポーツ少年団 9 団体 25 名

出席者

市長、宍戸副市長、総合政策部長、市民部長、文化スポーツ部長、
都市計画部長、教育総務部長、学校教育部参事

意見数

分類	件数	内容	頁
教育・文化・スポーツ	10	・ 小学校への夜間照明設備の設置	6
		・ 学校の網戸と窓の改善、ストーブの設置、武道場の整備	7
		・ 中学バレーボールチームの創設	10
		・ 中学校に希望する部活動がない場合の学校選び	11
		・ 川越総合体育館コートの使用	11
		・ 室内練習場の整備	13
		・ P T A や育成会役員の負担軽減	14
		・ 鉄棒の安全対策	14
		・ 陸上競技の大会を誘致できる競技場について	15
		・ 体育館へのエアコン設置時期	16
都市基盤・生活基盤	7	・ ボールが使用できる公園や施設	8
		・ 河川敷グラウンドの水道やトイレ①	9
		・ 河川敷グラウンドの水道やトイレ②	11
		・ 子どもが使えるグラウンド	12
		・ 初雁球場の応援席やトイレ	12
		・ 防犯灯の設置	16
		・ サッカーゴールのポストにクッションを	17
計	17		

意見交換（要約）

意見 私は川越市スポーツ少年団の本部長を仰せつかっております。今年度第5回目のタウンミーティングということで、普段であれば大人や、その地域またはその組織の方々が市長と話し合うような場であります。今日は市長の希望もあり、また川越市内の小学生の希望でもありまして、市長と直接話ができるという希望がかないまして、このような場を設けていただくことになりました。

本日は、川越市のスポーツ少年団の各単位団の代表者で、一部の団員の方にご集まっておりますけれども、みなさんはそのスポーツ少年団の団員という気持ちではなく、川越市の小学生の代表だというような気持ちを持って、素直な、率直な意見交換ができれば大変ありがたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

《出席者の自己紹介》

市民部長 ご出席いただきました川越市スポーツ少年団のみなさまから、団ごとに自己紹介と団の活動内容や成績、アピール等をいただきたいと存じます。

《川越バツハロー》

自己紹介 本日は、お招きいただきましてありがとうございます。川越バツハローでは、今日お越しにいたひているスポーツ少年団本部長を初め7名のコーチがおりまして、1975年設立の団ということで、間もなく45周年を迎えようとしております。本年は、6年生が今日来ている2名とあと2人のあわせて4名という少ないメンバーなんですが、下級生たち含め33名で活動を大塚小学校で行っております。学年を超えて仲よく活動をしており、今年のキャプテンが女子のキャプテンなんですけれども、本日は埼玉女子選抜としてキャノンガールズ・エイト大会に参加をしています。あと1カ月で6年生は卒団になってしまうんですが、残り少ない活動、精一杯頑張っていかうとしております。

自己紹介 大塚小学校6年です。趣味はスポーツと本を読むことです。将来の夢は、車をつくる仕事に入りたいです。

自己紹介 川越市立大塚小学校の6年です。趣味はサッカーをすることです。将来の夢は、サッカー選手になって世界で活躍することです。

《川越イーグルファイター》

自己紹介 本日は、川越小学校6年生の2名を連れて参加させていただいています。イーグルファイターサッカー少年団は、主に川越小学校のグラウンドで土曜日、日曜日の午前中に活動をしています。6年生が11名、総勢37名で仲よく活動をさせていただいております。この場を借りて、いろいろお話を聞きたいと思っております。

自己紹介 趣味は読書で、将来の夢はサッカー選手です。

自己紹介 川越イーグルファイターの6年です。趣味は本を読むことです。将来の夢は、サッカー選手になって世界で戦うことです。

《大東スポーツクラブ》

自己紹介 大東スポーツクラブの現在の団員数は、6年生9人、5年生13人、4年生12人、3年生7人、2年生10人、1年生4人の55人で活動しています。大東東小学校と大東西小学校をホームグラウンドとして使っています。大東東小学校では4年生以下、大東西小では5、6年生が練習をしています。団員は、市内のいろいろな小学校から集まっています。去年11月に、埼玉県の少年野球ナンバー1を決めるウィナーズカップで6年生が3位になりました。僕たち5年生も、11月に読売旗争奪山下杯親善大会で2年連続総合優勝をしました。6年生は、3月9日に卒団をします。次は、僕たちが埼玉県ナンバー1を目指して頑張ります。

自己紹介 将来の夢は、一流のプロ野球選手になることです。

自己紹介 趣味は読書です。

《高階南JVC（ジュニアバレーボールクラブ）》

自己紹介 高階南JVCは、創立約40年のバレーボールクラブです。団員は、6年生4人、5年生4人、4年生男子含め6人、3年生以下2人の計16名で活動しています。火、金、土、日と週4回、高階南小で練習しています。今年は男子混合で出場し、県大会を目指して頑張って練習しています。

自己紹介 高階北小学校6年です。趣味はバレーボールで、特技はアタックを打つことです。

自己紹介 高階ジュニアバレーボール6年です。趣味はバレーボールです。

《川越芳野JVC（ジュニアバレーボールクラブ）》

自己紹介 私は、毎週水、土、日曜日に芳野小学校の体育館で練習しています。団員は、6年生が3人、5年生が5人、4年生が4人、3年生が2人、2年生が3人、合計17人で活動しています。私たちは、監督のもと、いつも元気に声を出して最後までボールを粘り強く拾い、チーム一丸となって頑張っています。去年は、全ての公式戦で県大会に出場することができ、小さな大会でも好成績をおさめることができました。今は、新しいチームで明日の2次予選を突破し、県大会に行くことが目標です。もっとたくさんの人にバレーボールの楽しさを知ってもらいたいと思い、今日参加させていただきました。

《南古谷アクロス》

自己紹介 南古谷アクロス男子6年です。僕たちは、南古谷地区で活動しているミニバスケットボールのチームです。南古谷小学校、南古谷中学校を中心に練習しています。団員は、男子43名、女子31名、ジュニアリーダー20名です。男子は毎週、月、木、土、日、女子は火、水、金、土、ジュニアリーダーは日曜日とほぼ毎日練習や活動に取り組んでいます。南古谷アクロスは、結成から23年がたち、これまでに県大会出場のほか、関東大会や全国大会にも出場してきました。卒団生にはWリーグのプロの女子選手が2名います。大人になってからコーチとして僕たちの指導をしてくれる先輩方もたくさんいます。アクロスは、交差点という意味です。バスケットを通してたくさんの人たちと出会い、それぞれの道に向かって進んでいく交差点のような場所としてこれからも活動しています。

自己紹介 牛子小学校の6年生です。将来の夢は、プロバスケット選手になることです。

《ファイト川越》

自己紹介 ファイト川越です。今日は、6年生、5年生、そして指導者の私の3名で参加させていただいています。後ほど言いますけれども、ファイトからは夜間の照明施設の設置を要望させていただきたいと考えています。ファイト川越は、1972年に設立されまして、当初ファイトマラソンという名称で活動しておりましたが、昨年度から中学の体育教師を監督としてお招きしまして、ファイト川越と名称を変

え、ホームページも新しくしました。高階西小で、団員は80名前後、スタッフ15名で活動しております。中長距離が中心ですが、県の駅伝大会では、しらこぼとで上尾ジュニアと優勝争い、また、関東大会でも優勝の経験がある駅伝がめっぽう強いクラブになっています。県強化指定選手もこれまで70名ほど輩出している、名門クラブという自負を持って活動しております。

自己紹介 泉小学校6年です。走ることが好きです。将来の夢は陸上選手です。

自己紹介 高階南小学校の5年生です。来年度、埼玉陸上競技記録会の強化指定選手になるために練習をしています。団の紹介は、クラブは昭和47年4月1日に創立、トラックの中長距離を主とした陸上競技スポーツの少年団で、最近では走幅跳なども練習をしています。今年で47年目になります。現在の団員数は77名です。成績は、主なものとして、川越市民体育祭陸上の部、男子5年800m優勝、女子5年、6年800m優勝、400mリレー優勝、川越市市民駅伝、男子2位、女子優勝、川越トラックフェスティバル、男子4年、5年1,000m優勝、女子5年、6年1,000m優勝、スポーツ少年団新春マラソン、1年親子、2年親子優勝、男子4年、6年優勝、女子5年、6年優勝、埼玉県スポーツ少年団駅伝競走大会の男子が2位で8連覇を逃しましたが、女子は優勝で6連覇を達成しました。

《川越なぎなたジュニアクラブ》

自己紹介 川越なぎなたジュニアクラブでなぎなたをしています、川越第一小学校3年生です。趣味はピアノです。小学校1年生のときからお友達と入りました。なぎなたは、小さい子からお年寄りまで誰でも始めることができます。練習は、防具をつけて試合をしたり型の練習をします。東京の日本武道館で全国大会にも毎年出ます。私も、小学校3年生の中でベスト8に入りました。運動が苦手でも勝つことができるので楽しいです。ぜひ体験してみてください。

自己紹介 川越なぎなたジュニアクラブの南古谷小4年です。趣味は外で遊ぶことです。

《川越マリナーズ》

自己紹介 川越マリナーズ6年です。現団員数は6年生2人、5年生4人、4年生6人、3年生1人、2年生1人、1年生1人、幼稚園児1人の合計16名で、みんな

な仲よく楽しく活動しています。

自己紹介 川越マリナーズの6年です。主な活動場所は、牛子小学校の校庭で行っています。去年は、団員みんなで協力し、卒団大会で優勝することができました。今年も準優勝をとることができ、来年の試合に向けて練習を頑張っていきたいと思っています。

《小学校への夜間照明設備の設置》

意見 ファイト川越です。ファイト川越では、高階西小学校を利用しています。土曜日、日曜日は昼の1時から3時までを練習時間としており、平日は月曜、木曜を除く火、水、金と午後5時から7時までを練習時間としております。

昨年になりますけれども、どうしても5時半過ぎると冬場真っ暗になります。オープンコースで一斉に走り出す際、スタート時点で絡み合うということがございました。今5年生の女の子なんですが、転倒してしまって上から乗っかれて6針縫う大けがをさせていただきました。幸い傷は残らないできれいに消えたんですけれども、今それを契機にコーチ用の照明器具を、小学校の許可を得て電気をいただき、気休め程度ですが灯している状態です。

特に夜間は速く見えたりぶつかったり、過去にも頭がぶつかって血を流したということもありまして、照明器具は喫緊の課題になっております。

意見 高階西小学校の校庭で夜間17時から19時に練習をしていますが、夜間照明設備がないため設置してほしいというお願いです。

現在の状況は、小学校の許可をいただいてLED30ワットの照明2台とコーナーの暗いところに充電式LEDライトを6台設置しています。

体育館を利用しているクラブは明るいところで練習ができるため、できたら我々も明るいところで練習がしたいです。暗いと選手同士がぶつかったりけがをしまうことがあるので、ぜひ照明の設置をお願いします。

意見 照明が少ないと、スタートとかで危なくて怖いので、できれば照明を設置してほしいです。

文化スポーツ部長 現在、学校の校庭等に夜間照明がついているのは、小・中学校合わせて11校です。学校開放ということで、地域の方々に運営をお願いしています。夕方に走っていると暗くて危ないという状況はよくわかりました。夜間照明の

設置については厳しい状況もありますが、ご要望としてお預かりさせていただきたいと思います。

市長 そういうご要望があるというを、私は初めて知りました。学校設備に関しては、ここのところはエアコンの導入をメインにやってきました。今年度でエアコンの導入が終わります。今度は体育館にエアコンを入れてほしいというご意見が多く、体育館はいざというときの防災、避難場所に使われることがあるから、順番からいうと体育館のエアコンを考えて、その次ぐらいかなという、まだ具体的な計画があるわけではないんですが、そういう順序にならざるを得ないかなと考えております。

学校開放という形で照明をつけるについては、十分な照明でないにしても、地域の人と協力し合って費用を一定程度出し合って、ある程度の明かりをつけるとか、そういう方法もないことはないと思うので、その辺については教育委員会を通して検討をさせてもらいたいと思います。

副市長 照明ほしいですね。今、市長が申しあげましたように、学校では、まず耐震化をここ何年かずっとやってきました。全 54 校の小・中学校の耐震化が終わると、今度は特別教室、次に普通教室のエアコン設置がここで終わりました。これから残っているところは部材です。こういうところが落っこちてこないような耐震化をしなければいけない。要は、まずは安全を第一にしなければいけないところがありまして、今後はそのようなイメージで進めております。

全ての学校に夜間照明があることは、それに越したことはないんですけども、優先的には災害の防災拠点ですとかそういうところから進めております。したがって、臨時照明とかでご苦労をいただいているところでございますけれども、今すぐに照明をつけるというわけにはいかない状況でございます。現状では練習中に指導者の方とかにご注意いただきたいということと、あとは校舎の照明をつけてもらうことで、少しでも明るくなるようにできるかどうかを教育委員会とよく相談して、何とか事故がないように考えてまいります。

意見 わかりました。

《学校の網戸と窓の改善、ストーブの設置、武道場の整備》

意見 なぎなたクラブです。今は、川越第一中学校で練習をしています。夏は、網戸が破れていて窓をあけられません。窓をあけると蚊などいろいろな虫が入ってき

て困っています。また、窓が小さくて熱が道場内にこもってしまって、暑くて熱中症になってしまいそうです。

冬は先生が持ってきてくれる小さなストーブを使っていますが、寒くて練習に集中できません。武道場にはトイレもなく、夜1人で小さな子どもが行くには危なく怖いです。

どうか、窓と網戸の改善、大きなストーブを設置してください。大きな大会ができるような武道場があるといいと思います。もっと練習して上手になりたいと思います。

市長 大きな窓と網戸というご要望だと思うんですけども、網戸をつける点については、比較的費用も少なくて済むと思いますので、早い時期にできることから対応していきたいと思っています。

本当は、武道館にもエアコンを入れられれば一番いいのですが、なかなかお金が十分には足りないという面もあるので、当面は網戸を直すなどの対応でしのいでもらうしかないのかなと思います。網戸の要望については、しっかり受けとめたいと思います。ストーブ、暖房設備についても、全ての学校の武道館に一遍に入れるというのは難しい面がございますので、順次、検討を進めさせてもらいたいと思います。

《ボールが使用できる公園や施設》

意見 川越バッハローです。公園で自由トレーニングなどを行いたいのですが、ボール使用禁止だったり小さな子どもたちがいてできないことがあります。旭町1丁目の工事をしている公園はボールが使えますか。また、そのような広い公園や運動ができる施設を増やしてください。

都市計画部長 旭町1丁目の公園というのは、昔斎場があったところですが、これから広場と遊具があるような公園をつくろうと思っています。この公園ではボール遊びができるように、ネットで回りを囲むような形を考えています。ただ、例えば硬球を使ったり、バットを使ったりラケットを使ったりすることは、周りにぶつかったりすると危ないので、そういうことはできないという形で考えています。

公園自体は、ゲーム形式でなければボール遊びをしてもいいと思っています。ただ公園は周りに小さい子がいたり、みんなが使うような場になるので、周りの人に

迷惑かけないことを考えながらやってください。例えばサッカーだったらパス練習だったり、リフティングの練習であったり、そうしたちょっとした練習をやるぐらいであったらいいのではないかと考えています。そこはぜひ周りに子どもがいないかどうかなど、周りの状況を見ながら使ってもらえるとありがたいと思っています。

あと、もう一つ、ボール遊びが常にできるような広場や運動場をつかってほしいということですが、確かにそういうのができるといいなと思っています。ただ広い場所が必要になってくることもあって、町なかにそうした広いところというのは見つけにくいので、すぐに公園を新しくつくっていくというのはなかなかできない状況です。ただ、公園自体は毎年少しずつは増やしています。例えば今年度末には新しくできた斎場のところに小仙波八反田公園というのができます。この公園には、真ん中に芝生の広場があるので、もし周りに小さい子がいなければ、多少の練習とかちょっとしたボール遊びぐらいだったら別にしてもいいような形になっています。少しずつ公園は増やしているので、すぐに公園をたくさんつくりますみたいなことは言えないんですけども、意見としてはありがたく受けたいと思います。

《河川敷グラウンドの水道やトイレ①》

意見 川越小でサッカーをしています。サッカーの試合などに行くと、水道やトイレなどが汚いという声が少しあります。質問なんですけど、なぜグラウンドに水道や清潔なトイレがないのですか。

都市計画部長 今、川越市内にあるサッカーグラウンドや野球場は、一部を除いて河川敷というところにつくっています。河川敷は、ふだんは川が流れるところではありませんが、川の上流のほうで雨が多く降ったときには川になってしまうことがあります。そのため川の流れをせきとめるようなものをつくることができないという決まりがあるんです。そのためトイレについては汲み取り式で、台風がある前とかには取り外しができるようなものになっています。雨が降ったときに川になるところですから、つくれるもの、つukれないものというのがどうしても出てきてしまいます。確かに汚いというご意見はあるかと思いますが、点検や掃除をしっかりやっていきたいと思っています。

《中学バレーボールチームの創設》

意見 高階南ジュニアクラブです。川越市に中学のバレーボールチームがないため、遠くのバレーボールチームに行かなければなりません。なので、川越市内に中学のバレーボールチームをつくってほしいです。

文化スポーツ部長 中学のバレーボールチームというのは、クラブチームということで、部活とは違うという話でよろしいでしょうか。大人の場合ですと、川越とかこの近辺では、埼玉アザレアというバレーボールチームがあります。こういったクラブチームというのは、市役所がつくるというよりは、例えば地域のスポーツクラブみたいに、小・中学生から大人までがいろんなスポーツをやるというような形で、そういう総合型のスポーツクラブを立ち上げるというやり方があると思います。みなさんは高階南ジュニアバレーボールクラブさんですので、コーチや指導者、あと卒業して中学、高校生になっているOBもいるわけですよ。そういった方たちが中心となって立ち上げるような声を上げてもらう、また自分たちでOBやコーチにつくろうと言ってみるといのはどうですか。

市長 今やっているジュニアバレーボールクラブ自体もクラブチームということにはならないのでしょうか。

意見 クラブとはちょっと違うんです。スポーツ少年団なので。社会体育というかボランティアに近いですね。

市長 例えば野球なら野球の好きな大人や子どもが集まってそのチームをつくる、そういうものをクラブチームと呼ぶんじゃないだろうかと思っているんですけども、そうすると市役所が、ここにこういう野球のチームをつくりましょうよとか、ここはサッカーチームをつくりましょうよとかそういう形でできていくものではなくて、そこに住んでる人たちで、野球なら野球の好きな人たちが集まってチームをつくっていくという、そういう形でできていくのが普通じゃないかと思っています。

ですから、バレーボールのクラブチームをつくってほしいというのは、行政のほうに言っていただくよりは、どちらかといえば地域の人、あるいは学校に投げて、その地域でバレーボールならバレーボールの人たちに働きかけてそういうチームをつくりましょうよという、そういう市民レベルというか住んでいる人たちの動きができてこないとなかなか難しいということはあると思います。要望があるという

のはわかりましたけれども、それに対して市役所のほうが、こうしようとお答えするのはなかなか難しい問題だと思います。

《中学校に希望する部活動がない場合の学校選び》

意見 私は、バレーボールクラブで活動しており、4月からの中学校でもバレー部に入りたいと考えています。しかし、中学校によっては希望する部活動がない場合もあり、市内公立中学校の部活動を一人ひとりが自由に選べる環境となるよう力を入れてほしいと思っています。

学校教育部参事 中学校によって希望する部活動がない場合というところですが、教育委員会では、進学する中学校に希望する運動部がない場合、その部活動がある中学校、自宅から一番近い中学校に進学をすることができるようにしています。いくつか条件もあるので、おうちの人とか小学校の先生に相談をしてもらって、おうちの人から教育委員会に連絡をしてもらえればと考えています。

今、お話伺っていて、スポーツを続けていきたいとか、みんながスポーツが続けられるようにしたいとかそういう気持ちは、ぜひこれからも大切にしてください。

《川越総合体育館コートの使用》

意見 南古谷アクロスです。質問なんですけれども、川越総合体育館のコートは3面ありますが、試合のときは2面しか使えないので、何でかとお聞きしたいです。

文化スポーツ部長 総合体育館のコートは、もともと2面だったのを工夫して3面にしています。ですからバスケットゴールが1組足りていない状況です。これについては、もう1組バスケットゴールが準備できるように今、努力していますので待っていてください。

市長 バスケットボールのゴールが今まで2組しかなかったのですが、今、議会にかけている予算の中に、もう1組バスケットゴールを買うための予算を入れましたので、4月以降、今年中ぐらいには3面一遍につかえるようになると思います。

《河川敷グラウンドの水道やトイレ②》

意見 川越マリナーズです。練習や試合で入間大橋グラウンドを使うことがあるのですが、そこに水道、水洗トイレを設置してほしいのですが、いかがでしょうか。

都市計画部長 先ほど河川敷のお話をほかの方にしました。入間大橋グラウンドも、河川敷になりまして、あそこは川越市のほうから見ると、入間川と荒川という大きな川2つに囲まれた中洲というかなり陸から遠い場所にあるグラウンドです。そのため、ほかのグラウンドよりもさらに難しい、いろいろ要件というか縛りがあります。

入間大橋グラウンドは、ソフトボールの面数も非常に多いにもかかわらず、簡易的な汲み取り式のトイレが少ない数しかないということで、かなり迷惑をかけていると思います。なかなか難しいんですけれども、トイレをきれいにしていくなど、できることはやっていきたいと思います。また、ほかのまちのことを勉強しながらやっていきたいと思います。

《子どもが使えるグラウンド》

意見 大東スポーツです。子どもたちの使えるグラウンドをつくってほしいんですが、いかがですか。

市長 グラウンドや野球場といっても、それこそ河川敷のグラウンドとかいろいろあると思うんだけど、新しい野球場、あるいはグラウンドをつくるというのはとてもお金のかかることなんです。というわけで、今、子どもたちでもできる野球場としては、初雁球場と芳野台の野球場、あと笠幡公園にもあると思うんですけれども、そういうところを当面は利用していただくしかないのかなと思っています。

かなり時間のかかることだと思っていますけれども、初雁球場を今の場所から郊外、田んぼや畑地帯のほうに出して、それをつくるときにはサブグラウンドもつくらなきゃならないだろうし、できれば一緒に簡易のグラウンドも設置したいなというような、そのようなことは思っています。時間のかかることではありますが、今、市ではそのようなことを考えているところです。

というわけで、子どもたちが使えるような野球場をつくってもらいたいという要望はよくわかるんだけど、すぐにはできませんと、そういうお答えになってしまいます。

《初雁球場の応援席やトイレ》

意見 大東スポーツクラブです。初雁球場はいいグラウンドですが、応援席やトイ

レが汚いので、もっときれいにリフォームしてくれたらいいと思います。

都市計画部長 初雁球場は、設備が昭和 20 年代とかなり昔にできた公営球場なので、例えば今でいうとボール、ストライク、アウトの順番になっている表示がストライク、ボール、アウトの順番になっているとか、まだまだ直さなきゃいけないようなところがあって、使いにくいようなところもあると思います。

初雁球場は古いところなので、トイレが汚かったりとか、そういうところに気がつかれるとは思いますが、掃除を一生懸命頑張るとか、できるだけことはやっていきたいと思しますので、まだしばらくご迷惑をおかけしますが、よろしく願いいたします。

《室内練習場の整備》

意見 大東スポーツクラブです。雨が降ったときとか外で練習ができないので、室内練習場をつくってほしいです。

市長 みなさんから見ると、どうしてできないんだろうなというふうに思うかもしれませんが、市が持っているお金というのは、優先順位というか順番をつけて配分していくという考え方なんですよね。

今、市役所のやっている仕事の中で、室内野球の練習場を学校につけるとするのは、残念ながら順番としてはかなり後ろのほうになってしまうという現状があるんです。だから、希望はよくわかるけれども、それには対応できないなというお返事になってしまいます。

副市長 さっきからこっちに座っているおじさんたちは、みんなすぐお金のことが頭にあるのではっきり「はい」と言えないんですね、ごめんなさいね。

みなさん方も、1 か月例えば 1,000 円のお小遣いもらいますよね。1,000 円のお小遣いもらおうと、例えばゲームを買いたいとか、この漫画買いたいとかいろいろ考えて、じゃ、これを我慢しようとか、今月はこれをやろうとか、このゲーム機は、このゲームソフトはもうちょっと先に送ろうとか、ほかの安いところ探そうとか考えてやったりするよね。こちらはそれと同じことを考えていまして、我々は年間 1,000 億円あって、その 1,000 億円の予算をどうやって分配しようかということを生懸命考えています。

市長はいろんなことをやりたいというんです。私たちに、あれをつくりたい、こ

れをつくりたいと言うんです。たとえば照明をつくれとか言うんです。けれども、私が、照明つけたら、今度学童保育どうしますかと言うと、市長が泣く泣くじゃ、それはいいやという、そういう形をいつも我々は繰り返してやっているんです。今、我々が考えているのは、保育園に行けないお子さんがいらっしゃるので、保育園をどうしようかなと。あとは学童保育をどうやって充実しようとか、あと学校教育で、県からの配分だけじゃ先生が足りないから、市からも配分をしようとか。あるいは、高齢者施設でお年寄りの方々が入る施設をつくろうとか、あとは生活道路、みなさんが安全に通れるように道路をどうやって広げようとか歩道をつくるとか、そこら辺が優先的にあります。あと学校の耐震化だとか防災とかをやっています。

だから、みなさんから今おっしゃっていただいたことは、ぜひとも我々もやりたいんですよ、本当に。やって一緒にみなさんとボール蹴りたいなとか、バット振り回したいなと思っているんです。なるべくそういうところにも予算が回るように、これからいろんなところを節約して、一生懸命汗をかいて頑張っていきます。

《PTAや育成会役員の負担軽減》

意見 ファイト川越です。母は、小学校のPTA役員や地域の育成会の役員をしているのですが、活動内容が多く、休みの日とか平日の夕方や夜に話し合いをしています。仕事や家事もしながら役員の活動をしているので、私たちとゆっくり向き合う時間が少なく寂しいです。母も疲れてしまうので、役員の負担を減らしてほしいです。

教育総務部長 PTAとか子ども会育成団体連絡協議会に対しては、私ども教育総務部の地域教育支援課というところでその事務を応援しているんですけども、お母さんが夜いないというお話は、今日のタウンミーティングも含めて何回かそういうお話をいただいています。結論から申し上げますと、PTAのことについて何時からやってくださいというところまでは私たちのほうでは言えないので、お母さんにもお願いしてもらってPTAのみなさんの中で都合のつく時間で合わせてもらうしかないところなので、そのようにお母さんにもお伝えいただければと思います。

《鉄棒の安全対策》

意見 イーグルファイターです。川越小学校でサッカーをしています。サッカーと

は余り関係ないんですけれども、少し前に、サッカーをやっていて鉄棒に頭をぶつけてけがをした人がいます。そこで、事故を減らすために、鉄棒をゴム製などにすることはできませんか。

総合政策部長 鉄棒にぶつかってけがをするのでゴム製にというお話かなと思うんですけれども、鉄棒が何のためにあるかという、そこにぶら下がったりするためにあるので、そういったところの近くでは余りほかのことはしないほうがいいのかな、気をつけていただくのがいいのかなと思っています。

鉄棒がなくてもいいんだという学校などの判断があれば、そういった対応は何かしらできると思うんですけれども、鉄棒も意味があってそこにあるのだと思います。どうしても危ないところについては、例えば鉄の立っているほうに色を塗ったりとか、そういうことはできるかもしれないので、危ないところを見つけたら言ってください。ペンキを塗るぐらいはやろうと思いますので、学校や市役所に言ってください。

《陸上競技の大会を誘致できる競技場について》

意見 ファイト川越です。川越の競技場について、来賓、それから練習のときに教員の方も言っていることなんですけれども、私も高校から陸上をやって200mを専門にやっていたんですが、我々のころは上尾が聖地だったんですが、今は熊谷の競技場が中心でやっています。川越には、地の利のいい場所でいい競技場があります。しかしながら、陸上競技の大会に必要なサブトラックがなく、コースも8コースまでしかなくて、9コースあればいろんなことができるというもみんなが言っています。初期の設計段階でいろいろあったんだろうというお話はあるんですが、駐車場がたくさんございますので、駐車場1個潰して、土の300mでもいいからサブトラックがあれば、大きな県の大会を誘致できるんじゃないかと、うちの監督をはじめ、練習のときにいろいろな教員同士で話しているところです。ご検討いただければありがたいです。

市長 今の点につきましては、ご要望として承らせていただきます。それこそ野球場をつくるときに、どこにつくるかもまだ決まったわけではないんですけれども、つくるときにそういうようなものに対応できるような場所をつくるか、あるいは運動公園を改修するときにサブトラックをつくる、そういうようなことを考えたいと

思います。

《体育館へのエアコン設置時期》

意見 南古谷アクロスです。先ほど市長さんから、災害などのときに体育館のほうにエアコンなどというお話があったかと思うんですけども、そのエアコンをつける大体の予定というのはもう決まっていっちゃるのか。

市長 いえ、まだ決まっていません。

《河川敷グラウンドの水道やトイレ①②の補足説明》

総合政策部長 先ほど都市計画部長の説明で、河川で水が多くなると河川敷に水が流れるからちゃんとした構造物はできないというお話をしました。私も前、都市計画部にいたときに、川自体も国とか県が管理しているところが多くて、そこから市が借りてグラウンドという形で一時的にやっていますので、そういった面でできないということがあります。公園を管理する部署が都市計画部の中にあって、その職員も、台風が来るといってかなり気にしていて、もう間違いなく川越のほうに来ると、大雨が降るんだとなると現地に行って、トイレだとかベンチだとか、あるいはサッカーゴール、ああいったものも全部土手の上に上げるんですね。それを例えば途中に置いておくと、カメラで見られて、もっと上のほうまで上げて退避、もっと上のほうまでどけておいてくれという指示があって、またさらに雨の中行ってそういうのを上げたりしています。そういった状況もあるということでご理解をいただきたいと思います。

またみなさんのほうで何かいいアイデアがあれば、できるできないは別として、まずは意見をいただくところからスタートができるのかなと考えています。これは公園とか先ほどのグラウンドとか、そういったことじゃなくていろんなことと言えらると思っています。

《防犯灯の設置》

副市長 ご質問は特になかったんですけども、夜の道が暗いから防犯灯をというお声が随分あると承っていますので、防犯灯が今どういう状況かということをお話しいたします。

今、道路を照らす照明は除いて、暗いところを照らす防犯灯は川越市内全部で約2万2,000ぐらい設置しています。

毎年みなさんから大体200ぐらいの要望が上がっていて、大体9割方はご要望のところに設置している状況です。安心・安全を高めるために防犯灯の設置については、私どもも努力をしているところでございます。

ただ、1点だけご理解いただきたいのは、柱とか電柱が何もないところには防犯灯はつけられないということです。それについては私どももいつも心苦しく思っているところです。

あと、もう一つは、2万2,000もあると電気代もばかにならないものですから、電気代の半分は市が持って、残りの半分は自治会のみなさんに持っていただいています。

したがって、今後、ここに防犯灯をという話があった場合には、ここにはこの電柱があるから防犯灯をつけやすいねというところをまずご選別いただきたいのと、あともう一つは、電気代の半分はその自治会でお金を持っていただくので、自治会のお父さんお母さん方とよく話し合った上で市のほうにご要望をしていただければ、設置のスピードアップができると思います。ここに防犯灯をという話が出たときにはそういう調査や点検をしてご要望していただければと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。なるべく市のほうでも暗いところをなくそうと努力していますので、よろしく願いいたします。

《サッカーゴールのポストにクッションを》

意見 イーグルファイターです。サッカーの試合に行ったときに、ゴールのポストにクッションがついていないのがあって、そこにぶつくと危険だと思うので、つけてくれるとうれしいです。

都市計画部長 ぶつかったりすると危ないなというところもありますので、さっきお小遣いの使い道の順番をどうするかという話もありましたけれども、そういうことを考えながらやっていきたいなというふうに思いますので、少し時間をください。

市長 今日は、みなさん、それぞれいろんな予定があったかと思いますが、その予定を差しかえてこのタウンミーティングに出てくれて本当にありがとうございます。

なかなかうまく説明できない部分が多くて申しわけなかったと思うんですけども、みなさんの希望と要望はしっかり聞くことができました。残念ながらお金の問題を常に出しちゃって申しわけないんですけども、そういう面からわかには実現しにくい部分と、比較的早く対応できる部分がありますので、早く対応できることについてはできる限り早く対応して、少しでもみなさんの要望に応えたいというふうに思います。

今日は本当にいろいろありがとうございました。